

Kochi Royal Rotary Club

高知ロイヤルロータリークラブ週報



2014-2015

2015年3月16日発行

会長 寺尾 晴邦
 副会長 西川 義章
 幹事 二宮 邦江
 副幹事 壬生 邦昭
 創立 2003年4月27日
 例会日 火曜日
 12:30~13:30
 例会場 ホテル日航高知旭ロイヤル
 事務局 高知本町3-2-15
 高知新聞放送会館1階
 TEL 088-824-8660

第520回 2015年3月10日(火) 例会報告

今週のお花



- ・国旗儀礼、本日の歌
「奉仕の理想」
- ・ピジター紹介
松岡 英雄様 (高知東 RC)
渡辺 陽様 (高知西 RC)
- ・委員会報告
- ・本日のプログラム
松岡 英雄様
「宮尾先生と陽暉楼」

◎カンパニユラ (風鈴草) 「感謝」「誠実」

◎かすみ草「清らかな心」

今後の予定

3月24日(火)
ロータリー休日

3月29日(日)
地区協議会(徳島市)

3月31日(火)
花見夜間例会

その後の予定は
わかり次第お知らせします。

会長挨拶



今週のランチ



皆さんこんにちは。最近暖かかったり、寒かったりで、今日は寒い火曜日となってしまいました。寒いし、花粉はすごいし・・・何だか体調が悪くなってしまいました。

先週は3月7日土曜日から8日の日曜日にかけて東京に行ってまいりました。上野恩賜公園で開催されました日本石材産業協会が主催する『NIPPON 石博2015』に参加するためです。運営委員会には残念ながら忙しくて参加できておりませんでしたので、飛行機や電車の中で運営マニュアルに急いで目を通し、暗記しました。会場に到着して確認すると、私は何と“サイエンス”の係りになっていました。私の得意分野を知っている友人がその係りに付けてくれていたのです。サイエンスブースには偏光顕微鏡がずらりと並んでいて、国土館大学、地学の先生監修による展示物を地学研究所の先生と一緒に説明をする係りでした。

他のブースでは“石が文化を育んでいる意味合い”を見てもらうためのイベントが行われていました。石臼でコーヒー豆を挽いたり親石（石造の建物の基礎のうち、隅に据える大事な石）で石窯ピザを焼いたり、京都から来た人間国宝の灯籠職人の方と直接触れ合えるブースもありました。灯籠は普通50万円くらいですが、その灯籠職人の彼が造った灯籠の金額は、彼の言い値（200万とか400万とか・・・）で造園屋さん買い取られているそうです。高知では考えられない世界があるんだなあということを知る、良いチャンスでもありました。天気が二日間共雨だったのにもかかわらず大変好評でした。さすが上野恩賜公園です。

ジレンマもありました。年間パスポートも持っている、私の大好きな国立博物館が目の前に行く時間が無かったり、すぐ隣にある東京科学博物館を見に行く時間も全くありませんでした。プライベートな自分の時間を持てなかったことは残念でしたが、サイエンスブースで、言葉も良く分からないままでしたが、外国人の白人さんや黒人さんにもいろいろと説明でき、夢のような二日間を過ごしてまいりました。

石はもともと放射線を含んでいることと開催地が東日本ということもあり、東日本大震災に絡めたブースもありました。復興がまだまだ進んないことを実感することも出来ました。今日の日経新聞に三陸海岸では隆起が始まっていて、最大40cmの隆起もあるそうで、そうなることで漁船からの荷揚げが辛くなっている事が出ていました。徐々に復興の進んでいるところもあります。まだまだ復興は道半ばという記事も沢山あり、いろいろと考えさせられる何日間でした。

家庭記念日祝 岡崎秀仁会員 二宮邦江会員

ピジター紹介 松岡 英雄様 渡辺 陽様



岡崎 秀仁会員 3月2日

こんにちは。結婚して30年になりました。30年も経つと妻と言うよりは同志ですね。少し淋しい気もしますが、妻について行きたいと思います。

二宮 邦江会員 3月4日

母は81歳になりました。物忘れが多くなりまして、スリルとサスペンスに満ちた日々を暮しております。このまま元気で楽しく過ごせたらと思っています。



卓話 松岡 英雄様 「宮尾先生と陽暉楼」

皆様 こんにちは。今日は卓話ということで、よろしくお願ひ致します。現在高知東 RC で会長をしております。会長でもありますし、自クラブの例会にできるだけ出席をしようと思ひ、昨年まではロイヤル様でよくメイキャップをさせていただきましたが、今年はまだ一回しか来られていません。その一回というのが1月の6日にお邪魔させて頂きました。ちょうど翌日1月7日に毎年の恒例と致しまして実業団の「箸けん大会」というのを私どもの店で行っておりますので、参加しなくてはならず、ロイヤル様でメイキャップをさせて頂いたわけです。

その1月7日当日に「箸けん大会」の為に大広間に相撲のような土俵を設えるのですが、昼食を終えてもまだ出来上がらずに作業をしておりました。3時頃になりました時に、朝日新聞の方から電話がかかって参りました。「宮尾先生がお亡くなりになった事をご存知ですか？」と聞かれたのが、発端でした。それから朝日新聞、高知新聞、毎日新聞、産経新聞、読売新聞、最後はNHKまで来まして、取材の嵐でした。「箸けん大会」の始まる10分前くらいまで缶詰状態でした。

宮尾先生は、初めの頃、「櫛」から始まりまして、それが太宰治賞を取ったのですが、その後一連に「岩伍覚え書き」「陽暉楼」「寒椿」と続きますが、その全てに私どもの店が背景に入っておりますので、宮尾さんに関しての記事を書くには私どもの店が外せなかったという事情があったのでしょう。陽暉楼を執筆された時も私どもに取材としてお越し下さいました。その頃は私どもの陽暉楼時代のお客様が元気なされている時代でしたので、その方々にお越しいただき、宮尾先生ご自身が取材をされて執筆されました。

まず最初に私どもの沿革を少しお話致します。私どもの先祖の始まりが長曾我部の頃、一条家、一条兼定の家老をしておりました。その時の名前が岡和泉上輝之と申しました。ももとは岡家でした。岡家には兄弟が3人おりましたので、三つに分かれまして、岡家の本流・岡本家、岡家、そして岡家の末裔ということで末岡という名前になりました。末岡という名前はあまり縁起が良く無いと考え、「末」という文字を縁起の良い「松」に変え、それにより松岡という名前になりました。

その後長曾我部が滅ぼされまして、寛政年間の頃に高知城下に参りました。上町の方で山内家の御用魚屋を営みました。名前を「鮎屋」と言ひます。四万十川からの鮎などを扱っておりました。もうひとつ「富田屋」というのが有りました。「富田屋」は現在の「なごやま」です。坂本龍馬さんもその辺りで育ってました。ある雑誌で見たのですが坂本龍馬はサバの



刺身に「だいたい」をかけて食べるのが大変好きだったと書かれておりましたが、たぶん私どもの店にも来られたのではないかと想像しています。坂本龍馬の没後に陽暉楼は出来ておりますので、残念ながら陽暉楼には遊びに来ておりません。

明治維新の頃の高知の中心地というのは、(現在ははりまや橋周辺ですが)その頃は上町の5丁目あたりが中心でありました。5丁目中心に芝居などいろいろな興行が行われました。そこへ皆様がお弁当を持って行く訳ですね。その時に当店の初代が考えたのが折り詰めのお弁当を販売するという事でした。それが非常に人気が出まして大儲けしたようでございます。そのお金で陽暉楼を建てたという事です。場所は上町の5丁目のところを西へ行った現在マルナカさんが有る辺りで創業しました。その頃のお客様というのが、土農工商の階級がなくなって、おおっぴらに威張れなくなった武士階級の方々、その方々は明治維新で「下付金」という物を国からいただいているのでお金が潤沢にあったようです。そういうお客様が多かったようです。それがだんだん落ち着いて参りますと、今度は中央の文化に触れたいという要望が起こってきます。その時に始めたのが「書画会」というもので月に2回ほど、全国から文人墨客、即ち絵描きさん字書きさんを集めてその場で書いてもらうのです。それを座敷に全部吊してそれを無料で皆さんに開放して見て頂いたりしました。

その後自由民権運動が起こりまして、今度は自由党の巢窟のようになり、毎夜のように自由党の党員が集まりましてお酒を飲みながら議論を交わしておった訳です。

明治10年に鹿児島で西南の役が起こりました。そのときに窪川出身の谷千城(たにたてき)という者がそこへ行き、凱旋して帰ってきました。その時に私どもの店で祝賀会を開き「得月楼」という名前をつけてくださいました。これは中国の宗の蘇麟(ソイン)という方の詩で「近水楼台先水得 向陽花木易逢春(水に近き楼台はまづ月を得 陽に向かえる花木はまた、春に逢ひ易き」と詠われております。そこから「得月楼」という名前が付けられたのです。明治25年に玉水新地、現在の玉水町にあった本店を若松町に移転しました。なぜ移したかという、その頃は海からくるお客様が非常に多く、そこまで船で上る事が困難でありました。浦戸湾の方が来易いということで若松町に本店を移した訳です。明治40年には現在営業している「得月楼」を仲店として買収しまして、営業を始めました。もうひとつ支店がございまして、得月花壇というのがありました。これは高知城のお城の中にあり、その店は戦後まで営業しておりました。

太平洋戦争に入ってきますと、爆撃が始まったのですが、アメリカが一番最初に何処を狙うかという、県庁を狙います。その次に大きかった私どもの店が狙われ、爆撃で何も無くなってしまいました。当然仲店も、今営業している店も爆撃を受けました。ただ花壇だけは城内にありましたので爆撃は免れました。残念ながらそのあと進駐軍が入って来て宿舎に使われました。

先日ロイヤル RCの皆様には観梅会でお越しいただきましたが、その折のお座敷が、昭和12年南国博覧会の時に高知営林局が建てた所で、戦前の建物としてはあの部分だけが残っております。宮尾先生が帰ってこられた際には必ずあのお部屋で宴会をされました。

さて宮尾先生の本の中の「陽暉楼」というのがありますね。私どもに取材をして書かれましたので、いろいろな詳しい事が書かれておりますが、その中で一番私どもが困ったのが「陽暉楼」を遊郭として書かれた事でした、これが一番困った事ですね。遊郭ではございません。当店の玄関に入って頂いたら、左側の上に大きな巻物の絵を掛けてあります。その入り口のところに「一等料理所」と書いてあります。これは料亭のことであります。私どもは古くより料亭でございました。

それから陽暉楼にかかれておの人物です。桃若は非常に綺麗な年くらい前まで生存されておは踊りを舞って頂きました。胡若柳流でした。高知には非常に私どもの芸子が全部若柳流だつは山村流と坂東流が主流だった柳吉喜司という方が高知に稽古たのが、胡遊・桃若・ぼんた、では若柳が隆盛を誇りました。

この踊りに関しましては、本っちり分かれておりました。仲本店芸者は絶対に仲店には行かないという不文律がありました。

それから昔は本店の方に電車が引き込まれていたようです。宝永町の方から電車がうちの前まで引かれていたようです。電車で遊びに来て人力車で帰るとい遊び方をされておりました。

今月の13日に野村茂久馬さんの会を「土佐のお客」で開催いたします。その中でお話をされると思うのですが、現在の電車の軌道はりまや橋から南へ入る軌道が引かれておりますが、昔は堀詰から南の棧橋へ入っていたようです。何故かという野村茂久馬さんの会社が堀詰にあったからだそうです。そこから荷物を積んで棧橋へ行き棧橋から船に積みこむというような事であったようです。

それから「寒椿」のなかでは4人の芸子さんが出てきます。その執筆の最中に生存している芸さんがおりましたが、そのかたが文章の中であまり良く書かれておりませんでして、うちの先代が怒りました。そのようなこともあったようです。「岩伍覚え書き」というのがありますが、それを宮尾さんは見ていろいろと書き上げる事が出来たのだと思います。その覚え書き(手帳)がなければ、権は出来てなかったと思われま。

ということで、走り走りではございますが、「宮尾先生と陽暉楼」についてお話をさせていただきました。これで本日の卓話をおえさせていただきます。ありがとうございました。



ります 桃若・胡遊この人は実在です。そして胡遊というのは40ました。ですので、私の結婚式に遊の名前は吉喜寿と言いまして、若柳流が多いのですが、それは、たせいでもあります。一番最初によろございますが、あるとき若場を設けました。そのときに入っこの3人の芸子が舞ったので高知

店が若柳流、仲店が坂東流、とか店芸者は絶対に本店に来ませんし、

本日の歌「奉仕の理想」

ニコニコ発表 親睦委員会 南拓人会員



ニコニコ箱

【片岡 由紀夫会員】松岡会長、卓話有難う御座居ました。高知の歴史を知る事が出来ました。

【平岡 勉会員】東クラブ松岡会長 宮尾先生の卓話（得月 陽暉楼のお話興味深く聞かせていただき）ありがとうございました。

【岡崎 秀仁会員】30年になりました。年々パワーアップしてくる女房に対して、年々くたびれてゆく自分。波風を立てないように、忍の一字です。

【近藤 善資会員】松岡さん 為になる卓話ありがとうございました。

【二宮 邦江会員】松岡様卓話大変興味深く聞きました。ありがとうございました。家庭記念日祝いありがとうございました。

【山下 等会員】松岡様 楽しいお話ありがとうございました。私事ですが陽暉楼の映画で夏目雅子の美しいお姿が身体の中にやきついていきます。なめたらいかんぜよ！！

【小林 津月会員】松岡様 今日はありがとうございました。おもしろく楽しい内容は土佐人として知っておき

たいことばかりで嬉しかったです。今日は嬉しいお話で『得ですらう』！！

【野村 和男会員】松岡英雄様 陽暉楼と得月楼にまつわる明治初期から今日までの歴史的背景について詳細にご説明いただきありがとうございました。来年の観梅会の時までこの気持ちを大切に生きたいと思います。押忍！！

【尾田 安広会員】松岡様「誰も知らない土佐史」についての卓話ありがとうございました。陽暉楼2、3・・・。まだまだ続編が出来そうでしたが、宮尾先生が亡くなられてかないません。またお話をお聞かせ下さい。

【田岡 一徳会員】松岡会長ありがとうございました。高知に生まれながら陽暉楼から得月楼への変遷など初めて聞く陽暉楼で大変参考になりました。

【清水 敏博会員】松岡さん卓話ありがとうございました。陽暉楼の貴重なお話が聞けてためになりました。ありがとうございました。

【國澤 忠司会員】松岡氏の卓話は非常に面白かったです。昔の土佐はよかったね。

ニコニコ箱金額と累計

3/10	累計
20,000 円	438,855 円

出席率報告

	総数	出席	欠席	M.U	出席率
3月10日	24	17	3	4	87.5
2月24日	24	14	5	5	79.17